

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和46年度～			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	02 林業
事務事業名		02 治山事業	
		根拠法令・規程等	森林法、地すべり等防止法
		問 担当課(室)	農林水産課
		合 職・氏名	耕地治山係長 小川勝巳
		先 電話	0869-64-1830

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	森林所有者、山地近隣住民
目 的 (何のために)	森林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から市民の生命・財産を保全し、また、水源かん養、生活環境の保全・形成を図る
行 政 活 動 (どのような方法で)	治山施設等の維持補修等
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	山地災害の未然防止及び林地荒廃の防止

事業の実績					
活 動	実施項目	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	単独事業	箇所	3	1	0
	林地災害復旧事業	箇所	1	1	0
実 績	直接事業費	千円	7,014	2,731	0
	必要人員人件費		0.90人	0.22人	0.12人
	事業費計		12,984	4,086	903
	国 県 支 出 金		2,232	1,200	
	受 益 者 負 担 金				
	総 入 金 債	千円	700		
市 債					
そ の 他 ()					
一 般 財 源		10,052	2,886	903	
受 益 者 負 担 比 率	%				

結果指標					
結果指標①	単独事業	説明	治山施設等の維持修繕工事等		
	結果指標量	箇所	3	1	0
	対 前 年 比	%	-	33.3%	0.0%
	活 動 コ ス ト	円	7,129,000	845,750	703,000
単 位 当 たり コ ス ト		2,376,333	845,750	703,000	
結果指標②	林地災害復旧事業	説明	荒廃地及び治山施設等の災害復旧工事等		
	結果指標量	箇所	1	1	0
	対 前 年 比	%	-	100.0%	0.0%
	活 動 コ ス ト	円	5,855,000	3,240,000	93,000
単 位 当 たり コ ス ト		5,855,000	3,240,000	93,000	

事業の成果						
年度内完成率	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
		目標値(A)	100	100	事業無し	100
		実績値(B)	100	100	事業無し	到達目標年度
		達成率(B/A)	100.0%	100.0%	#VALUE!	各年ごと
成果指標設定の考え方・式や説明						
年度内完成箇所数÷年度内計画箇所数(林地災害復旧事業)						

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	近年の台風及び集中豪雨等により、治山事業に対する重要性の高まりと共に、市民からのニーズも高まっていることから、今後も緊急性・費用対効果等の検討を行い、引き続き工事及び修繕を継続していく必要がある。また、林地災害復旧事業については該当が無く実績は無かったが、台風等により災害が発生した場合には、緊急且つ適正に実施していく。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	単独事業及び林地災害復旧事業の実施に当たっては、実施箇所の確認、見直しを行い、最適な手段を検討し、コスト削減と作業効率の向上に努める。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	単独事業及び林地災害復旧事業については、当該年度に実施箇所が無かったが、事業の実施に当たっては、引き続き工事の早期発注を行い、目的の早期達成を図る。

平成21年度の状況		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
目標値	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し	設定無し
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	平成21年度については、林地災害復旧事業の予定はないが、災害が発生した場合には、迅速に対応したい。						

総合評価		評価区分<A~E>
当該年度については、該当が無かったが、今後も、単独事業及び林地災害復旧事業については、台風等により災害が発生した場合には、迅速に実施していく必要がある。		C

平成22年度以降の方向性・内容		方向性					
方向性		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	市民からの要望等により、治山施設の維持補修等を主体に、緊急性及び費用対効果等の検討を十分に行い、随時事業を実施していく必要がある。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			
	妥当性	緊急性、費用対効果等の検討による事業箇所の精査、選定	毎年度	投資効果の向上			
	効率性	事業の実施時に現地の確認、工法等の検討	毎年度	コスト削減			
	有効性	工事の早期発注	毎年度	目的の早期達成			